

目 次

理事長 巻頭言 「音楽とコンクール」

栃木県吹奏楽連盟理事長

石塚 武男

- 1.平成20年度 東関東吹奏楽連盟 マーチング講習会・発表会
「The World of Brass」報告
主催 東関東吹奏楽連盟 主管 千葉県東葛飾地区吹奏楽連盟
会場 千葉県 さわやかちば県民プラザ・県立柏の葉公園

栃木県立小山城南高校吹奏楽部 顧問 山本 伸子

- 2.「第1回バンドフェスティバル in やいた」報告
主催 栃木県吹奏楽連盟県北地区 主管塩那支部について
会場 矢板市文化会館・矢板公民館

栃木県吹奏楽連盟塩那支部長 戸村 真一（矢板中学校）

栃木県立茂木高校吹奏楽部 顧問 大久保裕子（茂木高校）

- 3.第14回東関東バンド・セッション2008東関東吹奏楽研修会・吹奏楽祭及び
第9回東関東選抜吹奏楽大会 報告

主催 東関東吹奏楽連盟 主管 茨城県吹奏楽連盟

会場 つくば国際会議場 大ホール

栃木県吹奏楽連盟副理事長 研修部長 岩原 篤男（真岡高校）

宇河支部長 西垣 徹（宇都宮南高校）

編集後記

栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長

三橋 英之（作新学院高校）

「音楽とコンクール」

栃木県吹奏楽連盟理事長 石塚 武男

夏だ！ 吹奏楽コンクールだ！ 皆これに向かって熱く練習されたことでしょう。練習はとても辛いことですが、皆と一緒に一つのことに力合わせてやったことは、皆さんの心に大きな宝物となって残るものです。

コンクールで緊張しながら大きなステージで、お客さんに音楽を聞かせることができたのは、一生涯心に残るものです。この感激は周りの人、特に学校の先生方、家族の暖かい支えがあったことを忘れないで感謝の気持ちを持っていただきたいと思います。

指導者の方々は授業のほか、いろいろな仕事に忙しく追われ、家庭のことを犠牲にされて、練習に身も心も費やされたことと思い、心から御礼申し上げます。

コンクールに燃えて、音楽を勝負の道での指導をされたかと思いますが、このことだけで音楽を終わらせてしまうと、子どもたちは音楽という本来の楽しさを味わうことなく、誤解してしまう可能性があるかと思っています。是非、「音楽はコンクールだけにあるものでない」ということを、この後指導されることを心掛けていただきたいと思います。

すなわち、何らかの形で、いろいろな音楽を奏でることができるように、子どもたちにチャンスを作ってやってほしいものです。たとえば、校内音楽会、定期演奏会、地域の行事、学校の行事等に積極的に参加させることだと思います。

そのことによって、音楽の表現の楽しさを覚えることができるでしょうし、これによって、より一層音楽が好きになることでしょう。そして、一人でも多くの子どもが音楽を好きになることを願っています。それがまた、子どもたちに大切な情操教育の支えとなることだと思います。

指導者の皆さんも、ご自分の秘めたる能力と労力を十分に発揮されることにより、子どもたちを育てる喜びとして、ご自分に達成感と潤いを得てほしいと思います。

1.平成20年度 東関東吹奏楽連盟 マーチング講習会・発表会 「The World of Brass」報告

5月10日(土) 主催 東関東吹奏楽連盟 主管 千葉県東葛飾地区吹奏楽連盟
会場 千葉県 さわやかちば県民プラザ・県立柏の葉公園

「ワールドブラス2008」に参加して

小山城南高校 山本 伸子

5月10日土曜日、千葉県柏市柏の葉運動公園で開催された「ワールドブラス2008」に新入生22名を含めた総勢49名で参加して参りました。初めての経験でしたが、大胆にも「森の音楽会」「パレード」「メイン演奏」すべてに参加してみようと部員達が今まで演奏した曲とか、すぐに暗譜できそうな曲とかを持ち寄り計画しました。

当日は残念なことに雨模様でした。1時間以上早く到着してしまった私達は、それでも小雨の中パレードコースを歩いてみたり、会場を外から眺めたり、わくわくした気持ちで開場を待ちました。

しかし、「森の音楽会」はアゴラというメイン会場での開催、パレードは直前に中止という状態でした。

アゴラ会場での森の音楽会演奏は、初めの柏高校1年生の演奏から、千葉県の中学校の演奏へと続き、茨城県常総学園の演奏等どれもこれもパワーあふれるものばかりでした。また、観客の層が厚いことも驚きでした。吹き抜けの3階までのギャラリーが朝から満杯でした。

栃木県も、もっともっと吹奏楽の楽しさを一般の方々にPRし、周囲に応援してもらえる吹奏楽活動をしていかないといけないなあと思つづく思いました。

城南高校は、メインステージでは3月の演奏会のステージドリルで演奏した「ミスサイゴン」を演奏・演技しました。演奏時間の情報が錯綜して、20分 15分 7分と時間がどんどん短くなり、カットして動きを見直してゆくのが大変でした。

自分たちとしては、まずまずの演奏・演技でしたが、やはり他県と比較するとまだまだ華がない地味な感じでした。

これからも、部員一同努力して、華やかなマーチングステージを作り上げていきたいと思っています。貴重なチャンスを与えていただき感謝しています。ありがとうございました。

2.平成20年度 「第1回バンドフェスティバルinやいた」 報告

5月31日(土) 主催 栃木県吹奏楽連盟県北地区(主管塩那支部)
会場 矢板市文化会館

吹奏楽指導者・顧問・児童・生徒・保護者から一般の方々までお楽しみいただける、総合型吹奏楽研修会が開催され、およそ900名の参加があり、大盛況のうちに終了致しました。さながら、ミニJBCバンドクリニックの様相に参加者達は大いに一日を満喫したはずであります。次年度以降も継続されるといいですね。(無理矢理代筆したH・Mが報告)

「内容」 課題曲講習(モデルバンド:作新学院高等学校吹奏楽部・講師:水口 透・三橋英之)
ポップス講座(モデルバンド:那須拓陽高等学校吹奏楽部)

ユーフォニアム・チューバアンサンブル（バス・トロンボーン・那須拓陽高・矢板ウインド・オーケストラ）
グランドハーブと独奏楽器の調べ（ハーブ：高久美穂・オーボエ：田淵哲也・サクソフォン：島田和音・トランペット：小野美海・クラリネット：海老澤栄美）
吹奏楽 × クイズ（豪華賞品が・・・）
小学校講座 / 初心者合奏講座（講師：水口 透）
ユーフォニアム・チューバアンサンブル講座（講師：村上陽一）
木管アンサンブル講座（講師：田淵哲也）
基礎合奏の仕方講習（講師：大貫 茜）
樽屋雅徳氏作品クリニック（講師：樽屋雅徳・残念ながら、急病で欠席のため中止でした）
MC 講座（講師：福島真理子）
ダンスレッスン & 振り付け入門（講師：島津江味）
著作権講座 楽器別クリニック（オーボエ・クラリネット・サクソフォン・トランペット）
スペシャルコンサート（作新学院高等学校吹奏楽部・オリタノボッタ 氏） ほか
YAMAHA ニューパーカッション展示会
YAMAHA 最新刊楽器試奏会
舞台よろず相談（宇都宮舞台サービス）他

「県北地区フェスティバル報告・参加者感想」

茂木高校 大久保裕子

矢板で吹奏楽の研修会があると聞き、若干遠いという地理的事情から参加することを迷っていましたが、色々な行事に参加することで生徒も自分自身も刺激を受け、今後の活動に生かされればと思い参加しました。結果、参加して大変よかったですと思います。実技講習会とは一味違い吹奏楽に関わることを色々な視点から見ることができました。参加した講座の中らいくつか感想を述べてみたいと思います。

「八木成隆氏によるラテンパーカッション講座」

参加型の講座で、時間が経つのを忘れるほど楽しみながら勉強することができました。生徒は初めて見る楽器や八木氏のテクニックの凄さに感動していました。

「福島真理子氏の MC 講座」

1 週間後に控えた自校の演奏会に少しでも役立てられればという藁をもつかむ思いと吹奏楽の講習会では珍しい講座という思いから生徒と一緒に興味津々参加しました。吹奏楽の定期演奏会等ですぐに役立てられる内容であり、MC をする上で大切なポイントに注意して実践することで、すぐにその上達を感じることができました。

「スペシャルコンサート」

作新学院高等学校吹奏楽部とオリタノボッタ氏による演奏はフェスティバルを締めくくるにふさわしく、とても楽しむことができました。この演奏を聴き、充実感で満たされました。矢板まで来た甲斐があったと心から感じる事ができ、会場を後にすることができました。

最後に... 1 日中楽しんで研修することのできたこのフェスティバルを企画・開催した実行委員の方々に心から御礼申し上げます。

3. 第14回東関東バンド・セッション2008東関東吹奏楽研修会・吹奏楽祭及び 第9回東関東選抜吹奏楽大会 報告

6月14日(土)・15日(日) 主催 東関東吹奏楽連盟 主管 茨城県吹奏楽連盟
会場 つくば国際会議場 大ホール

第9回 東関東選抜吹奏楽大会に参加して

栃木県立真岡高等学校 岩原篤男

「平成20年度 第14回 東関東バンド・セッション2008(吹奏楽指導者研修会・吹奏楽祭)」が平成20年6月15日(日)茨城県つくば市のつくば国際会議場で行われました。この大会は、前年度栃木県が主管であり6月に栃木県総合文化センターを中心に開催された行事と同じものでまだ記録に新しいことと思います。今年は茨城県が担当となり計画され実施されました。筑波学園都市の街角でもプロムナードコンサートやこの国際会議場では東関東から選抜された高校生のリハーサルなど盛りだくさんの行事が展開されておりました。茨城県では、今年国民文化祭(H20.11)がこのつくば市で開催されるとのことで「国民文化祭のプレコンサート」として細部にわたって緻密な計画がなされておりました。今回栃木県代表3校の一つとして本校は推薦され、参加できたことは栃木県吹奏楽連盟並びに皆様に大変感謝致しております。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、本校はこの大会に参加するにあたって最初はとまどいと不安を覚えておりました。まず、1. 部員が新年度になり確保できるかどうか? 新入部員がどれだけこの大会に間にあって出場できるか?(本校の新入部員は全て男子ですので、初心者が全てであること)

2. 今年度の定期演奏会は、学校祭がなく隔年のため6月中下旬に予定されていました。

定期演奏会を5月下旬か、6月上旬にしなければならなくなりました。

3. 内容について、他県のように経験豊富な団体と違っていろいろ趣向をこらせるか?

まだまだ問題点はありましたが、生徒達といろいろ話し合った結果、3月の吹奏楽研究大会の作品や定期演奏会の第 部のパフォーマンスをいれた作品をこの大会に持って行けば他県とはずかしくない演奏が出来るのではと考えました。その結果、生徒達は非常によく頑張ってくれました。部員の確保も何とかかなり新入部員も中学時代、野球やサッカーや陸上など各運動部で鍛えた精神力を武器にバットやボールを楽器に持ち替え、そして短時間で何とか人様に披露できるようになり大会に望めました。

大会の結果は、金賞そして審査員特別賞のヤマハ賞をいただきました。ヤマハ賞は、今年発売される「ニュー・サウンズ・イン・プラス2008」の全10巻でした。

この大会での演奏した内容は、ロバート W. スミスの今年の新譜で「魂の交響曲」アメリカシンディアン悲話を題材にした作品。坂本龍一の映画「ラストエンペラー」より日本のお琴と吹奏楽のコラボレーションを試み、ブラックライトを使用したステージ。そして、最後はディズレー映画「ハイスクールミュージカル」より「We'er all in this together.」バンド全体がフューチャした作品でまとめてみました。演奏時間は、15分という短い時間でしたが本校の特色を出しきれたステージとなったことが、審査員の最高得点となりヤマハ賞へ結びつけられたのではないかと考えています。そして、特に応援に駆けつけてくれた保護者の皆様の得点が成績に反映され、私達の演奏の励みにもなったと思います。

第9回東関東選抜吹奏楽大会報告

宇都宮南高等学校 西垣 徹

私は、平成20年6月14日(土)~15日(日)の二日間、茨城県つくば市のつくば国際会議場で行われました、第9回東関東選抜吹奏楽大会に生徒の引率という形で参加しました。この大会と一緒に

行われた第14回東関東吹奏楽研修会のために編成された、東関東高等学校選抜バンドの栃木県代表の10名の生徒を引率しました。今年このバンドを指導されたのが、常総学院高等学校の本図智夫先生です。先生は夕食を食べる時間も惜しんで熱心にご指導されました。練習中、納得がいくまでとことん生徒と向き合う熱意が生徒にも伝わり、本番は大変すばらしい演奏でした。来年は千葉県主管で開催されるということです。多くの生徒にこの行事に参加して、すばらしい経験をしてほしいと思います。

- 演奏曲：1. ブライアンの休日
2. 歌劇「トゥーランドット」より 誰も寝てはならぬ
3. 千の風になって（独唱付き）

ながーい編集後記（「今年こそ」続編）

平成20年度が始まりました。「今年こそ」という思いを胸に、日々の練習を頑張っていますか。

しかし、やはり時間は誰も止められません。気がついてみれば、とっくに暑い夏のコンクールシーズンが迫って来ています。夏休みに入り、日々の練習は佳境に入っていることと思います。

さて、この3月から6月にかけて、本県各支部や他県で吹奏楽のクリニックなどの素晴らしい行事があり、私も参加させて頂きました。まさに指導者の側にとって「今年こそ」頑張らねばならない時に、指導の助けとなるヒントをたくさん頂戴してきました。東関東吹奏楽連盟に所属する4県の中で最も輝きのある演奏ができるヒントをです。

3月16日(日) 栃木県吹奏楽連盟宇河支部、上都賀支部、芳賀・真岡支部春期吹奏楽クリニック

「吹奏楽研究大会2008」出演校 中学2校 高校5校

ゲスト 田中靖人 前田綾子 石橋尚子

楽曲研究ということで、出演校が2008年の課題曲・新譜・旧譜（これまで名曲といわれた作品）などを紹介し、打楽器・楽譜・CDなどの展示販売のコーナーが設けられた。

また、ゲストである田中靖人（サクソフォン）前田綾子（フルート）石橋尚子（ピアノ）の三氏によるトリオでの演奏や、田中氏とバンド及び前田氏とバンドの演奏も行われた。

予想以上に来客があり、大いに盛り上がり、次年度以降が楽しみになりました。

4月29日(祝) 平成20年度 栃木県吹奏楽連盟総会・研究会

「新しいハーモニーディレクターを使用したバンドトレーニング」

講師 甘粕 宏和氏

会場 栃木県教育会館大ホール

甘粕氏は、現在神奈川大学吹奏楽部のコーチをはじめ、若手のトレーナーとして全国各地で活躍をされている。ハーモニーディレクターと「JBCのバンドスタディ」をうまく活用させたバンド指導は、広く普及し、全国で活躍するバンドの多くが実践をしている。この講習では、新製品であるHD-200（ハーモニーディレクター）をうまくバンドのトレーニングで活用するためのヒントをわかりやすく解説していただきました。

5月16日(金) 平成20年度 栃木県吹奏楽連盟指導者研修会

～18日(日) 2008 JAPAN BAND CLINIC

第39回 日本吹奏楽指導者クリニック

会場 静岡県浜松市 アクトシティ浜松

毎年恒例になっている全国最大規模の吹奏楽指導者のためのクリニックです。以前よりアクセスが良くなり、参加しやすくなりました。ゲストバンドの演奏を聴くだけでも最高ですが、日常の活動に大いに役立つ様々な講座を設定し、その充実した内容にまた参加したくなります。楽譜・CDなどの資料の展示販売の規模も大きく、直接担当者と話ができるのもいいですね。楽器・出版社・音楽大学などのブースも数多く、情報収集に役立ちます。今年は東京ディズニーリゾートのブースも設置されており、ディズニー内での演奏の応募の仕方などを紹介していました。そして、全ての講座が終了した後の懇親会も大いに盛り上がります。全国各地から参加された先生方と情報を交換し、自分自身の未熟さを知り、また頑張ろうと決意を新たにすきっかけにも成ります。参加者の中には、全国大会の常連である優秀な指導者はもちろんのこと、作曲家や演奏家等も数多く参加しており、直接話ができるのも大きな魅力の一つです。ぜひ、来年こそは参加してみたいかがでしょうか。(もっとも、そんな時間的余裕がなくとも地元でも素晴らしいイベントが目白押しです。まずはいってみませんか。)

以上独断と偏見の報告をさせて頂きました。そして、それぞれのイベントについて先生方の報告にあったように多くの素晴らしいイベントが開催され、参加者達には必ずやバンド活動に活かされる大きな収穫があったと確信しております。

また、宇河支部では、栃木県のバンドが最も輝きを放った演奏を奏でられるようにと願いを込め、H先生やM先生を中心に勉強会を始めたと聞きました。支部の垣根を越えて賛同者が集い、会を重ねるごとに人の輪が大きくなっていると聞きました。皆さんも是非参加してみたいかがでしょうか。生徒に指導する指導者の側こそが大いに勉強し、太っていきませんか。

どうか暑い夏を楽しんでと、願ってやみません。

【お願い】原稿の依頼がありました折りには、期限は必ずお守り下さい。

広報部長 三橋英之(作新学院高校)

広報部長 三橋 英之